

財務ハイライト

単位:百万円

	2007年3月期	2006年3月期	2005年3月期	2004年3月期	2003年3月期	2002年3月期
年度:						
売上高	544,244	425,092	386,909	340,470	325,100	353,050
営業利益(損失)	22,983	10,967	10,031	5,782	△1,959	△1,767
当期純利益(損失)	8,662	4,940	4,991	△2,248	△7,090	△1,488
フリーキャッシュ・フロー*1	6,513	6,774	23,730	25,674	22,940	△4,406
設備投資額	21,455	19,691	17,669	13,691	15,717	32,087
減価償却費	19,008	19,221	20,384	20,325	22,035	24,149
研究開発費	10,000	10,832	9,592	9,930	10,380	13,686
年度末:						
総資産	361,892	338,837	324,502	333,786	352,761	412,992
純資産	193,600	181,542	176,296	176,912	182,005	200,950
有利子負債	43,051	43,604	46,506	67,847	87,996	112,723

単位:円

1株当たり金額:						
当期純利益(損失)	23.8	13.4	13.5	△6.3	△19.3	△3.9
配当金	8.5	7.0	7.0	5.0	5.0	7.5

単位:%

経営指標:						
自己資本比率	52.6	53.6	54.3	53.0	51.6	48.7
ROE	4.7	2.8	2.8	△1.3	△3.7	△0.7
ROA*2	6.4	3.2	3.1	1.7	△0.6	△0.4
D/Eレシオ	22.6	24.0	26.4	38.4	48.3	56.1

従業員数(人)	15,100	15,199	15,045	13,590	11,804	13,543
---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

*1 フリーキャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計により算出しています。

*2 ROA(総資産利益率)は営業利益を使用して算出しています。

注意事項

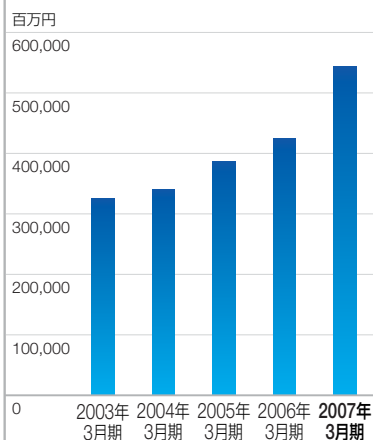
本アニュアルレポートに掲載されている、当社及び当社グループの業績予想・業績目標は、当社が本アニュアルレポート作成時点において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は予想・目標と大きく異なることがあります。その要因のうち主なものは、次のとおりです。

- ・ 主要市場(特に日本、米国、アジア)における経済状況
- ・ 急激な技術変化
- ・ 新製品・新技術の開発、タイムリーな市場投入、低コスト生産を実現する当社及び子会社の能力
- ・ 製品市場、製品市況の変動
- ・ 為替相場変動
- ・ 資金調達環境
- ・ 製品需給、製品市況、材料市況及び為替相場等の変動に対する当社及び子会社の能力
- ・ 自社特許の保護及び他社特許の利用の確保
- ・ 製品開発等における他社との提携関係
- ・ 日本の株式相場変動

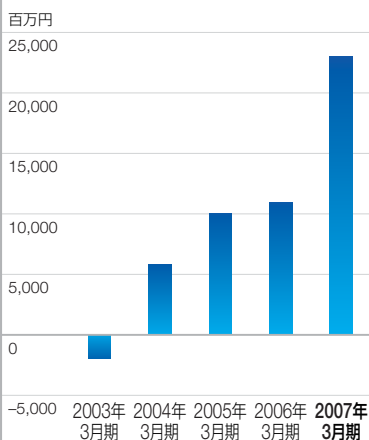
注記:

1. 2007年3月期
(2006年4月1日から2007年3月31日まで)
2. 日立電線の事業年度は4月1日から翌年の3月31日までです。

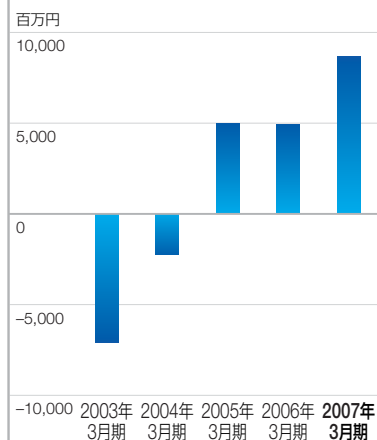
売上高



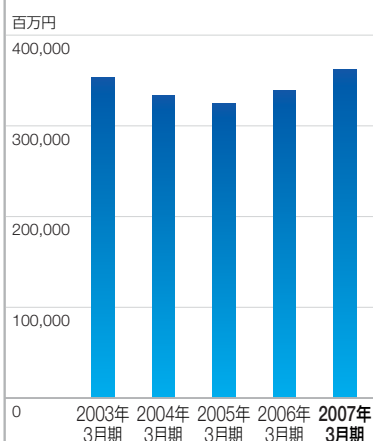
営業利益 (損失)



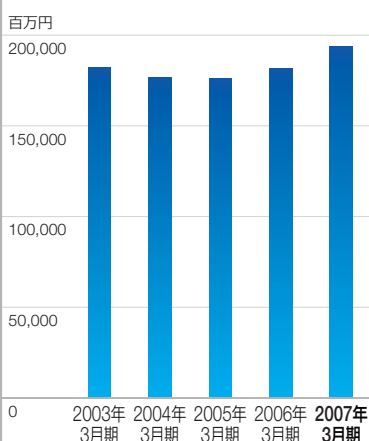
当期純利益 (損失)



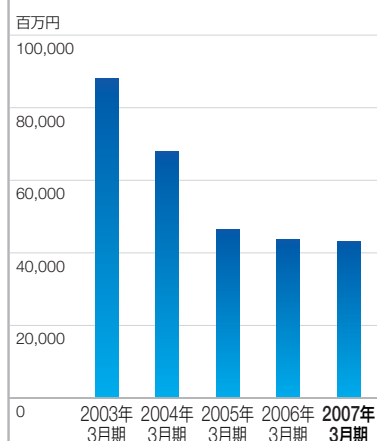
総資産



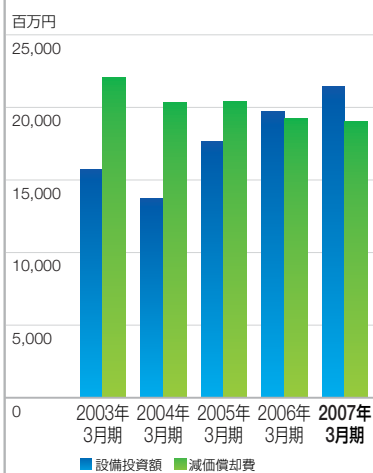
純資産



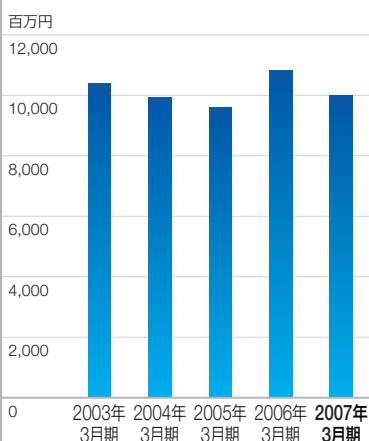
有利子負債



設備投資額／減価償却費



研究開発費



ROE/ROA

